

Mirror Mount 接着品質基準

Strength of Mirror Mount adhesion

主 管：車両審査実験部材
料 開 発 第 二 課
制 定：2008 年 12 月 19 日
最終改：2014 年 1 月 1 日

1. 適用範囲

本規格は、準構造用アクリルフォームテープ又は、一液ウレタン系接着剤（以下接着材）を用い、RR View Mirror 取り付けの Mirror Mount をウインドシールドに接着させた場合の要求性能及び試験方法について規定する。

2. 試験の一般条件

2-1. 試験室の標準状態

試験室の標準状態は、原則として JIS Z 8703:1983 で規定される温度 $23 \pm 5^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $65 \pm 10\% \text{RH}$ を基準とする。ただし、他の条件にて試験を行う場合には、その理由を付記し事前に承認を得ること。

2-2. 試験品の調整

試験品は製造後 24 時間以上経過したものであり、試験前に 24 時間以上 2-1. の標準温・湿度状態に静置した後に試験に供する。ただし、4. に定める試験方法で指定がある場合には、4. 試験方法の条件が優先する。

2-3. 試験品の数

試験品数は、原則 3 個以上とする。

2-4. 試験品の作成

試験品は、ガラス・接着材・Mirror Mount（材質・形状）を用い、量産工法又は同等の品質がえられる工法を使用し、図面に指定されているガラス表面（表面処理）部に接着し作成する。

（試験に使用した試験片及び製造工程は、5. 試験結果報告にて試験結果と合わせて報告しなければならない。）

3. 品質基準

3-1. 4. 試験方法に定める試験を実施した場合、以下の品質基準を満足しなければならない。

試験項目		品質基準
1.初期強度	剥離試験	Mirror Mount 剥離：980 N 以上 (@70mm)，又はガラス破損のこと
	トルク剥離試験	Mirror Mount 剥離：50 N・m 以上，又はガラス破損のこと
	衝撃試験	2.7J (@70mm) にて Mirror Mount の剥離なきこと，又はガラス破損のこと
2.耐熱老化	剥離強度	Mirror Mount 剥離：980 N 以上 (@70mm)，又はガラス破損のこと
	トルク剥離試験	Mirror Mount 剥離：40 N・m 以上，又はガラス破損のこと
	衝撃試験	2.7J (@70mm) にて Mirror Mount の剥離なきこと，又はガラス破損のこと
3.耐湿試験	剥離試験	Mirror Mount 剥離：980 N 以上 (@70mm)，又はガラス破損のこと
	トルク剥離試験	Mirror Mount 剥離：40 N・m 以上，又はガラス破損のこと
	破壊衝撃	2.7J (@70mm) にてミラーボタンの剥離なきこと，又はガラス破損のこと
4.耐サーモサイクル試験	剥離試験	Mirror Mount 剥離：980 N 以上 (@70mm)，又はガラス破損のこと
	トルク剥離試験	Mirror Mount 剥離：40 N・m 以上，又はガラス破損のこと
	衝撃試験	2.7J (@70mm) にて Mirror Mount の剥離なきこと，又はガラス破損のこと
5.クリープ試験		2000 時間で Mirror Base の剥離 及びガラスの破損等なきこと
6.熱間試験	剥離強度	Mirror Mount 剥離：980 N 以上 (@70mm)，又はガラス破損のこと
7.冷間試験	剥離強度	Mirror Mount 剥離：980 N 以上 (@70mm)，又はガラス破損のこと
8.振動試験	剥離強度	Mirror Mount 剥離：980 N 以上 (@70mm)，又はガラス破損のこと

3-2. ISC-A00-008Y「部品への使用制限や報告義務のある物質」に従い、これに該当する対象物質の有無等を報告すること。報告先は、いすゞ自動車(株)車両審査実験部材料開発第二課とする。

4. 試験方法

4-1. 初期強度

4-1-1. 剥離強度

試験品は、2-2.により調整されたものを用い、実写取り付け状態上部より荷重をかけ（参照 図 1），Mirror Mount ・接着材の剥離，又は，ガラスが破損するまで荷重を測定する。

試験スピード:50mm/min

荷重点:Mirror Mount 接着面より 70mm

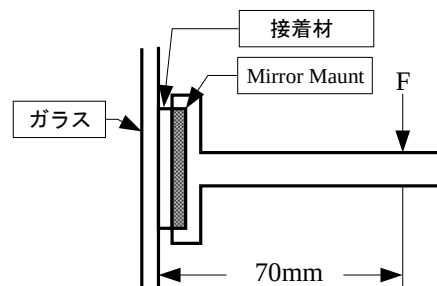


図 1：剥離強度試験方法

4-1-2. トルク剥離試験

試験品は、2-2.により調整されたものを用い、Mirror Mount 中央

部を中心に回転方向に荷重をかけ（参照 図 2）、Mirror Mount・
接着材の剥離、又は、ガラスが破損するまで荷重を測定する。

回転速度：2rad/min

4-1-3. 破壊衝撃

試験品は 2-2. により調整されたものを用い、4-1-1. の試験
荷重部と同位置に 2.7J（鋼球：1kg 以上の鋼球を使用し、
衝撃エネルギーを 2.7J になるような高さより自由落下さ
せる）の衝撃を与え（参照 図 1）Mirror Mount・接着材
の剥離、及び、ガラス破損の有無を確認する。

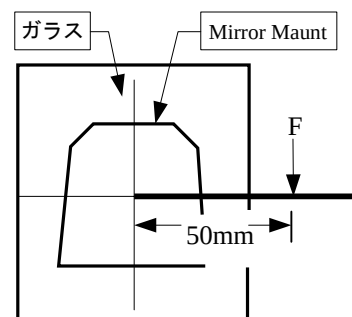


図 2：トルク試験方法

4-2. 耐熱老化

100±2℃に調整された試験槽内に 720 時間（30 日）部品
を静置後、24 時間標準状態に静置してから以下の試験を
実施する。

- 1) 4-1-1. 剥離強度
- 2) 4-1-2. トルク試験
- 3) 4-1-3. 破壊衝撃

4-3. 耐湿試験

温度：49±2℃ 湿度：98%RH 以上に保たれた試験槽内に 720 時間（30 日）部品をおく
その後、24 時間室温に放置してから以下の試験を実施する。

- 1) 4-1-1. 剥離強度
- 2) 4-1-2. トルク試験
- 3) 4-1-3. 破壊衝撃

4-4. 耐サーモサイクル試験

以下の①～⑧のサイクルを 1 サイクルとして、合計 5 サイクル実施し、その後標準状態で 24 時間
静置最後 1) ～3) の試験を実施する。

- ① -30±2℃× 7.5 時間
- ② 標準状態× 0.5 時間
- ③ 80±2℃×15.5 時間
- ④ 標準状態×0.5 時間
- ⑤ -30±2℃× 7.5 時間
- ⑥ 標準状態× 0.5 時間
- ⑦ 49±2℃ 98%RH 以上× 15.5 時間
- ⑧ 標準状態× 0.5 時間

- 1) 4-1-1. 剥離強度
- 2) 4-1-2. トルク試験
- 3) 4-1-3. 破壊衝撃